資料　7

令和7年度青森県脳卒中・心血管病対策協議会
令和7年10月21日(火) 18:00～19:00

青森県・弘前大学医学部附属病院
脳卒中・心臓病等総合支援センター
活動紹介

青森県・弘前大学医学部附属病院
脳卒中・心臓病等総合支援センター
看護師　佐藤佑惟

青森県

青森県・弘前大学医学部附属病院　脳卒中・心臓病等総合支援センター

弘前大学

「循環器病の年齢調整死亡率の減少」と「健康寿命の延伸」に向けて、
県と密接に連携し、県内全体における包括的な患者支援体制を構築する。

活動のポイント

①循環器病の患者・家族の相談支援　②循環器病の疾患啓発　③医療従事者の横の繋がりの強化→病病連携の推進

基幹病院

全県的な相談支援体制の構築

○各医療機関の患者支援センター、PSCコア施設の「脳卒中相談窓口」スタッフとの研修会・勉強会を実施

○「脳卒中相談療養士」のネットワークを構築し、情報共有

○県内基幹病院と「循環器病相談支援ネットワーク」構築
→Web会議などで、研修会や事例紹介などを定期的に実施
患者・家族の声も情報共有

地域の病院

研修会・勉強会の開催

＜想定テーマ＞
・臨床イナーシャの改善
・アドバンスケアプランニング
・患者の就労支援　など

かかりつけ医

地域連携パスの構築

介護事業所

疾病管理手帳の標準化

地域のリソースの把握

青森県 ↔ 青森県脳卒中・心血管対策協議会
青森県及び県協議会と密接に連携

脳卒中・心臓病等総合支援センター
（弘前大学医学部附属病院）

看護師2名／社会福祉士1名／事務員1名を新規（専任）に配置し、センター員は兼任を含めて15名体制

＜院内各職種と連携＞
医師/看護師/薬剤師/リハ専門職/社会福祉士/管理栄養士/臨床検査技師/臨床工学士/放射線技師　等

患者・家族

電話・メール・Webによる相談対応

・Web(Zoom)による双方向的相談
・遠隔相談(支援)を実施

県民

公開講座、マスメディア活用による啓発

・公開講座は医師のほか多職種による講演を実施
・マスメディア活用による全県的な啓発活動
・市町村教委と連携し、学校で健康講座を開催

啓発資材の開発

・脳卒中・心臓病それぞれについて、急性期・回復期・維持期の留意点を含め、多職種の視点で複数作成、HPでも公開

疾患啓発

医療従事者向け

治療・受療リテラシー向上事業
「高血圧治療に求められるもの」(R7.8.23)

目的

診療における高血圧患者との関わりや治療における課題への理解を深め、医療提供側におけるイナーシャ改善の一助とする。

対象



青森県の医療従事者
県民の保健指導に携わる保健師・栄養士など

県民向け

第8回県民公開講座
「全国初！めざせ高血圧ゼロの県」(R7.10.4)

目的

県民に脳卒中や心臓病の原因である高血圧の予防、治療に関する情報を広く周知する。

会場

青森市会場からサテライト会場(12か所)へ中継配信



病病連携①心臓病関連



有資格者および所属施設間の連携

心不全療養指導士 NetworkMeeting

第1回：R6年7月
第2回：R7年1月
第3回：R7年7月
第4回：R7年2月(予定)

目的

多職種、多施設間のネットワーク構築および人材育成

↓

心不全ケア 心リハの質向上

心臓リハビリテーション指導士 NetworkMeeting

第1回：R7年6月
第2回：R8年1月(予定)

病病連携②脳卒中関連

脳卒中相談窓口の連携（R7.8月）

目的

・県内PSCコア及びPSC施設に設置されている脳卒中相談窓口担当者間の情報共有の場を作り、窓口間のネットワーク構築の足掛かりとする。
・脳卒中相談窓口設置予定の医療機関へ情報提供を図り、ネットワークの拡大を目指す。

参加施設

相談窓口設置済
・青森県県立中央病院
・八戸市立市民病院
・八戸赤十字病院
・弘前大学医学部附属病院

相談窓口設置予定
・弘前脳卒中・リハビリテーションセンター

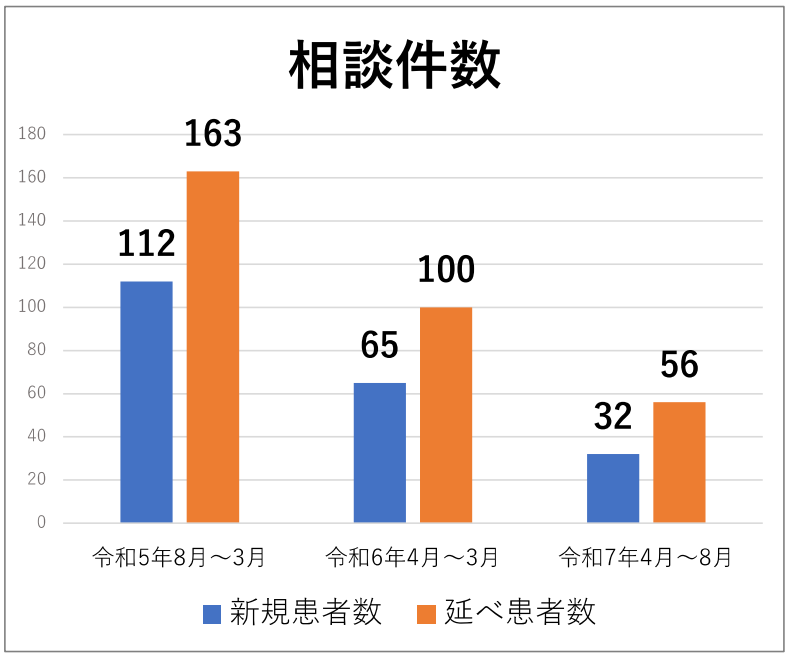


相談支援

参考資料

相談件数の月平均

新規相談　8.36件/月
延べ相談　12.76件/月



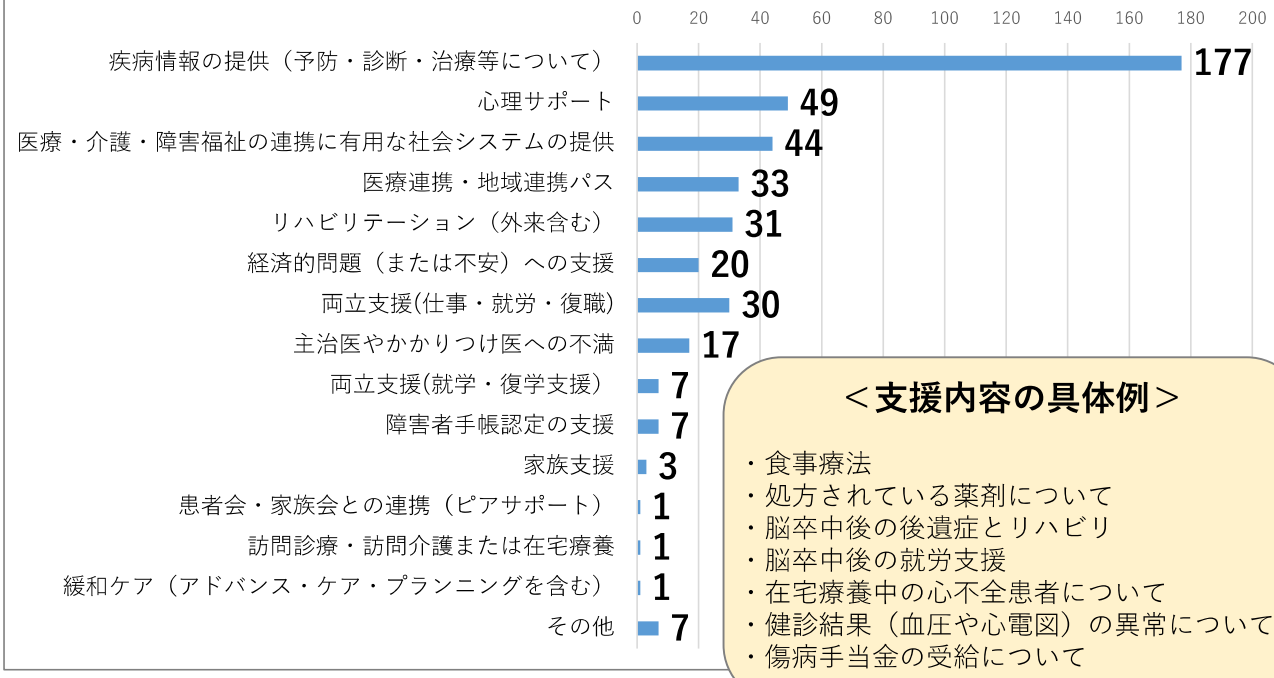


参考資料

相談支援

令和5年8月～令和7年8月

支援内容



＜支援内容の具体例＞

・食事療法
・処方されている薬剤について
・脳卒中後の後遺症とリハビリ
・脳卒中後の就労支援
・在宅療養中の心不全患者について
・健診結果（血圧や心電図）の異常について
・傷病手当金の受給について